

2021年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート調査実施状況

1. 2021年度回答者内訳

研究科	M 1			M 2			全 体		
	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	19	7	37%	18	7	39%	37	14	38%
地域産業研究科	6	4	67%	6	2	33%	12	6	50%
法学研究科	5	0	0%	5	2	40%	10	2	20%
合 計	30	11	37%	29	11	38%	59	22	37%

※学生数は、2022年3月1日付学生数による。

2. アンケート実施期間

2022年1月4日～3月4日

3. アンケート告知方法

(1) 沖国大ポータル内のGmail「2021年度 大学院教育研究の向上に関するアンケートについて」にて通知

4. アンケート回収方法

(1) Webアンケート(Googleフォーム)での回答(22件)

(参考) 過去3年間(2018～2020年度) 回答者内訳

【2020年度回答者内訳】

研究科	M 1			M 2			全 体		
	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	13	9	69%	19	5	26%	32	14	44%
地域産業研究科	3	2	67%	12	5	42%	15	7	47%
法学研究科	4	2	50%	7	0	0%	11	2	18%
合 計	20	13	65%	38	10	26%	58	23	40%

【2019年度回答者内訳】

研究科	M 1			M 2			全 体		
	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	15	10	67%	13	9	69%	28	19	68%
地域産業研究科	6	4	67%	9	2	22%	15	6	40%
法学研究科	5	1	20%	8	1	13%	13	2	15%
合 計	26	15	58%	30	12	40%	56	27	48%

【2018年度回答者内訳】

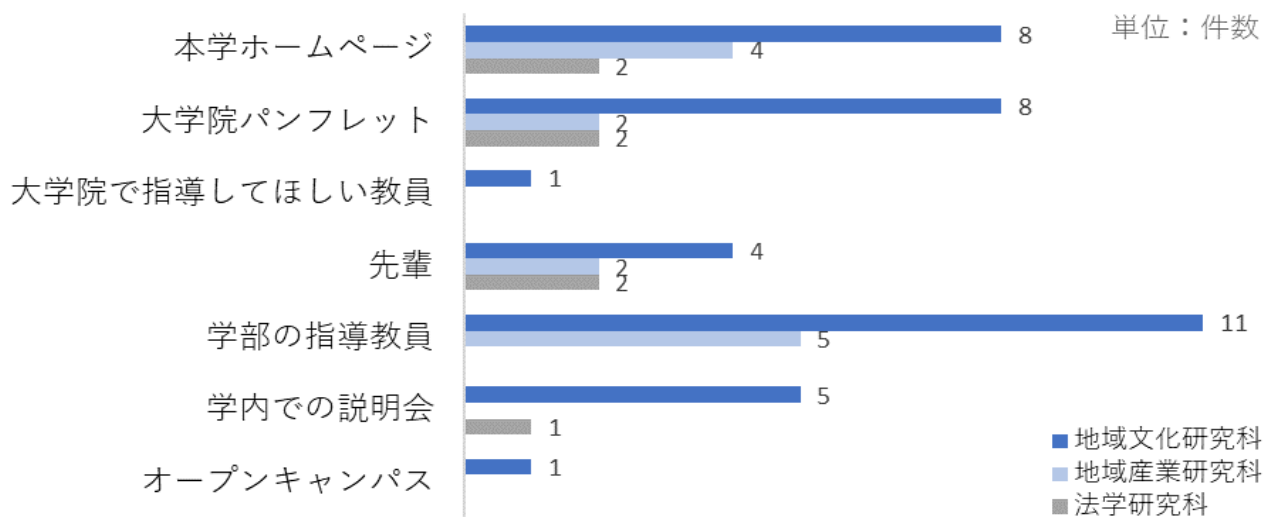
研究科	M 1			M 2			全 体		
	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率	在学者	回答者	回答率
地域文化研究科	8	6	75%	19	11	58%	27	17	63%
地域産業研究科	7	6	86%	7	1	14%	14	7	50%
法学研究科	5	3	60%	8	1	13%	13	4	31%
合 計	20	15	75%	34	13	38%	54	28	52%

「2021年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」 集計結果

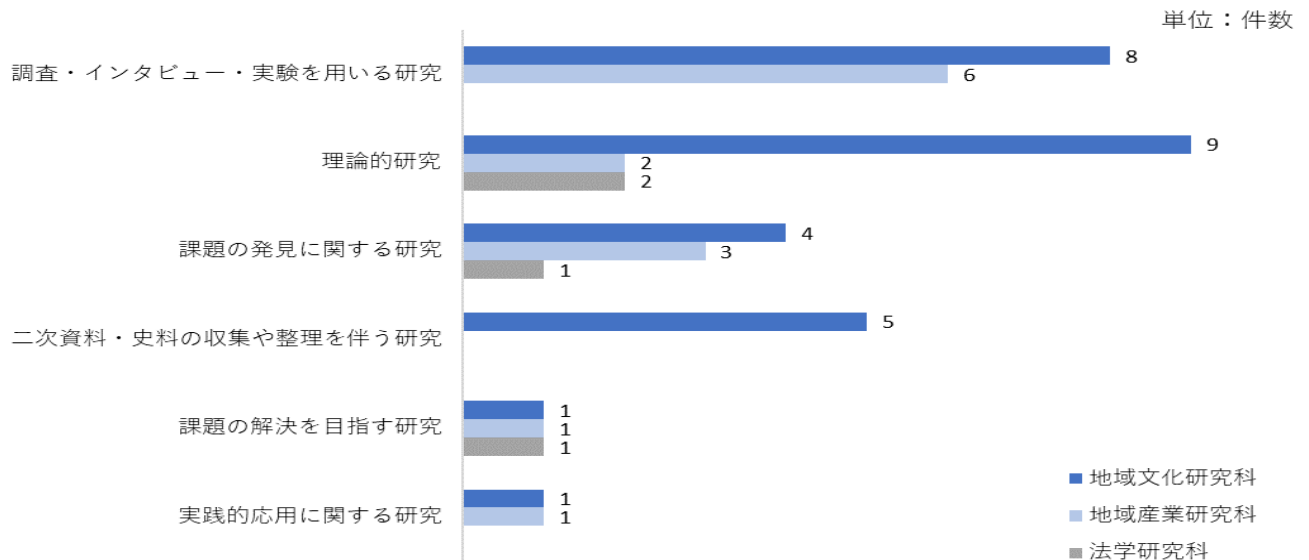
2. 進学理由（複数回答可）



3. 大学院進学時の情報源（複数回答可）



4-①. 現在おこなっている研究について（複数回答可）

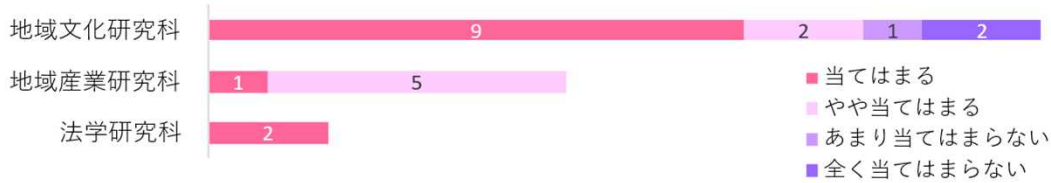


「2021年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」 集計結果

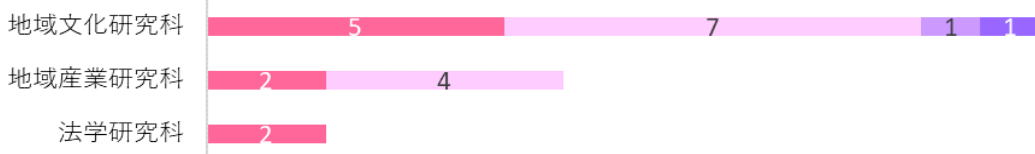
4-②. 現時点の研究状況

研究テーマ・内容が明確か

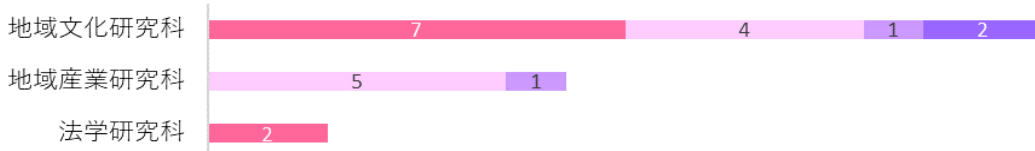
単位：人



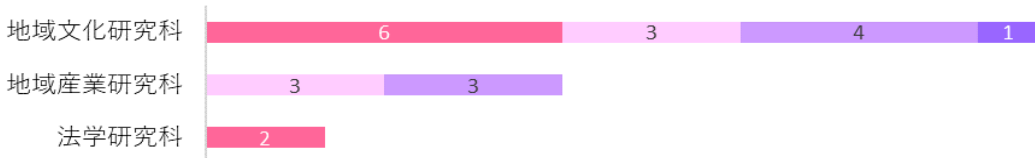
独自性を意識した研究か



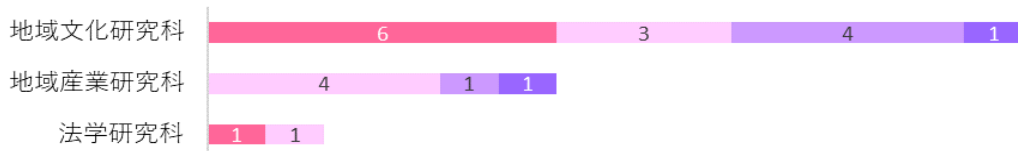
研究の計画が具体的か



自身の判断で研究を進めている



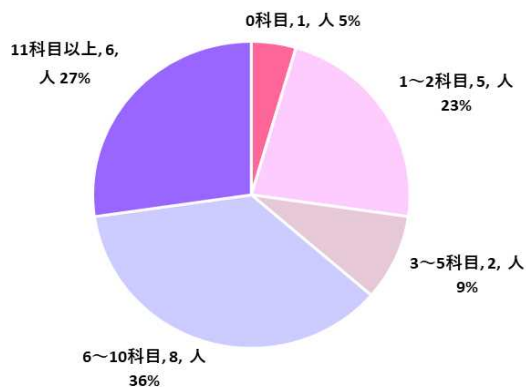
他者の意見をもらう機会を作っている



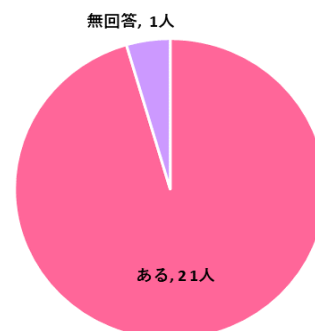
学外の研究者と積極的に交流している



5-①. 2021年度の履修科目数



5-②. 研究に役立つ科目

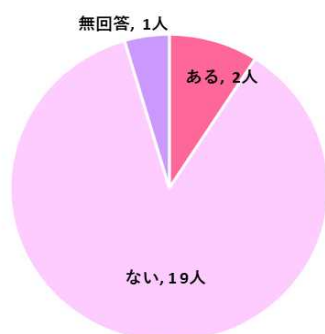


「2021年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」 集計結果

5-②-(2). 研究に役立つと思った科目名、 (3). 理由

所属	学年	科目名	理由
地域文化研究科	1年	南島民俗特論	南島文化専攻の各講義において、本講義は南島文化理解のための核となる講義であるため。また、担当教授は民俗学の現代大御所の一人であり、講義が非常にわかりやすいため。
地域文化研究科	1年	人間福祉特論、保健医療福祉特論、地域共生社会特論、社会福祉研究法特論	実践現場から離れて違う視点の学問に触れたこと。
地域文化研究科	1年	南島先史学特論	考古学としての「物」の見方、考え方を教えてくれる
地域文化研究科	1年	国語教育学特論Ⅰ・Ⅱ	研究課題が国語科教育に関連するので、この科目で扱った理論や歴史的な背景を学ぶことができた点が役に立つと思いました。
地域文化研究科	1年	社会学研究法特論	インタビューの方法、調査対象者との接し方。
地域文化研究科	1年	文化財保存特論	行政で働く際の実践的な方法について学ぶことができたため。
地域文化研究科	1年	産業・労働分野に関する理論と支援の展開、ゼミ	労働に関する理論の展開の歴史と最近の状況、研究を進めていく上でのアドバイス
地域文化研究科	2年	日本語文化特殊研究Ⅱ	執筆途中であっても息詰まっているところや困っていることを相談すると、自らのテーマ、意見にそった解決方法を提示してくれた。指導教官の先生に、頭のなかで考えてはいるが文章化できないことを話す事で、自分自身のなかで整理ができた。研究テーマについて、一から説明せずとも理解してくれる人と話す時間は大変貴重であった。
地域文化研究科	2年	臨床心理学特殊研究ⅡC	自分の研究や他者の研究について検討する時間があるため。様々な意見、アドバイスが得られるため。
地域文化研究科	2年	心理実践実習Ⅳ、臨床心理実践B	実践的に学べるため
地域文化研究科	2年	南島文化特殊研究所Ⅱ	自身の研究テーマだけでなく、別の院生の研究テーマも知れるから。
地域文化研究科	2年	日本語文化特殊研究Ⅱ、南島文学特論ⅡA	論文執筆のために授業でアドバイスを受けることができた。資料検索の方法を指導してもらった。
地域文化研究科	2年	文化財保存特論	資料収集と活用方法について
地域文化研究科	2年	臨床心理学特殊研究ⅡA	ゼミの中で、自身の研究を発表し、ゼミ生や教員とディスカッションをする中で新たな視点に気づけたり、アドバイスを貰えたりするから。
地域産業研究科	1年	特殊研究の科目	論文についての相談ができる点
地域産業研究科	1年	沖縄経済特論	指導教員の科目であり、研究に直結する内容が多いため。
地域産業研究科	1年	経済情報統計解析特論	研究する中で、たくさんのデータを分析しないといけないのでその分析手法を学ぶことができた。
地域産業研究科	1年	経済情報統計解析特論B	アンケート分析を行う際の、統計学的視点、検定の方法などを学べた
地域産業研究科	2年	沖縄経済特殊研究Ⅱ	必修科目。 修士論文執筆に関する具体的な指導が受けられる。
法学研究科	2年	税法特殊研究Ⅱ	先生の経験も交えて学べるから
法学研究科	2年	税法特殊研究Ⅱ	修士論文の作成に向けての知識が深まった

5-③-(2). 改善した方が良くと思う科目



「2021年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」 集計結果

5-③-(2). 改善したほうがよいと思った科目名、 (3). どのような点を改善したほうがよいと思ったか

所属	学年	科目名	理由
地域文化研究科	1年	南島芸能特論 南島文学特論	南島芸能特論、南島文学特論は来年度以降開港予定が無いとのことだが、本講義も南島文化専攻において重要な講義であり、担当教授は親身になって相談に乗ってくれるため、今後も開講して欲しい。
地域文化研究科	1年	社会福祉研究法特論	オンラインのため難しかったと思うが、特定の調査法を具体的に学びたかった。

6-①. 指導体制・環境に満足していますか



6-③. 入学前オリエンテーション



6-②. 満足できない理由 (①で「満足していない」と回答した方)

所属	学年	ご意見・ご要望
地域文化研究科	1年	大学院の研究室に設備されているPCにAdobeがない
地域文化研究科	2年	コロナ禍で図書館が自由に使用出来なかった。特に地下一階にある、個別学習室が2年間使用できなかったのは、残念に思う。感染予防をしながら、利用することはできなかったのか。検討して欲しい。
地域産業研究科	1年	昨今のコロナ禍を受けて大学構内に出入り出来ない期間があったため。

6-④. その他、指導体制、方法、環境に関するご意見やご要望

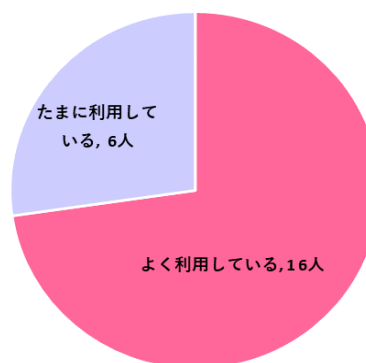
所属	学年	ご意見・ご要望
地域文化研究科	1年	南島地理学特論にて、5号館1階のパソコン教室を利用しているが、通信状況が悪く、各講義の目的を急遽変更することが多々あったため、通信環境の改善を要望します。
地域文化研究科	1年	オンラインのためか、心理的距離や熱量の違和感は拭えない。指導教員の的確な助言にはいつも感謝であるが、研究者の大学院生としての力量がついているのか自己評価測定がない。
地域文化研究科	2年	同じ研究科内であっても専攻が違うために、発表会の準備の相談がしにくい面があった。勿論、学生同士で解決すべきことではあるが、入学後に一度、専攻が異なる学生とも挨拶をする機会があったら大変有難い。一つも講義が被らず、自習場所で会うこともない、名前もしらない相手に、いきなりメールで発表会の相談をするのは厳しい。 大学院生は2年で卒業してしまうのと、年度によって先輩がいないこともあるので、修士一年が発表会の司会進行を担当する際に進行シナリオを作成しておく必要がある（もしくは、先輩からデータを受けとっておく必要がある）ことを、何らかの方法で伝えていく必要があると感じた。
地域文化研究科	2年	資料豊富な図書館があるので、もっと有効活用ができると、研究体制も向上すると思う。卒業生にも、気軽に利用できるようにして欲しい。研究は今後も継続するので、ぜひ、図書館を利用したいと思っている。
地域文化研究科	2年	13号館の院生室や自習室にパーテーション設置と机等を固定してほしい。
地域産業研究科	1年	地域産業研究科の必修科目である「地域産業セミナー」は夏休み期間ではなく、入学前の春休み期間内に行う方が良いと思う。（各領域の講義を体系的に学べるため、入学後の講義履修の参考になると思う。）

「2021年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果

7-①. 大学院の施設・設備に満足していますか



7-③. 大学の設備（研究室や図書館）を利用していますか



7-②. 満足していない理由（上記①で「満足していない」と回答した方のみ）

所属	学年	理由
地域文化研究科	1年	大学院棟のpcにADOBEがついていない
地域文化研究科	1年	新型コロナの影響下で使用できる教室の時間制限があるため修士論文作成に必要なPCソフトを使う時間が限られている
地域文化研究科	1年	・食堂やカフェは夜もあいていると嬉しいです。 ・駐車場が昼間に入ろうと思うといつも並んでいます。駐車場にはいるとたくさん空いているところがあります。並んでいる最中に見える範囲でも空いているところもあるのに入れてもらえない、車はたくさん出てくるのに入れてもらえない、ということがずっと起こっていました。駐車場の警備員の方々は各所に配置されていますが、立っているだけの印象が強く、どこが空いているかなど積極的な連絡は取れていないように思えました。また、空いている駐車スペースに近づいた時に、どこが空いているか気づいていなくても、誘導もしてくれません。空いている駐車場に入らず遅刻してしまうのは不利益と考え、以下、提案です。 どこかがあくと、あいた所（アルファベットの区域）へ案内するように入り口の警備員さんに連絡を取るオペレーションになっているようですが、非効率なように思えましたので（案内されていないところに入る方も結局いるため）入口と出口に警備員さんを置き、何台車が出たから、何台入れてくださいというオペレーションに変えるのはどうでしょうか。もしくは、より高い位置（13号館の非常階段のうえのほうなど）から見れば、どこが空いているか平地から見るとよりずっとよくわかります。 暑い夏などは、警備員さんも影から動きたくない気持ちもよくわかりますが、配置されている人数に対してオペレーションが回っていない事実もあるため、改善いただけると幸いです。
地域産業研究科	2年	新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館の利用制限により、社会人学生としては、時間的に利用できないことが多かった。

7-④. その他、大学院の施設・設備に関するご意見やご要望

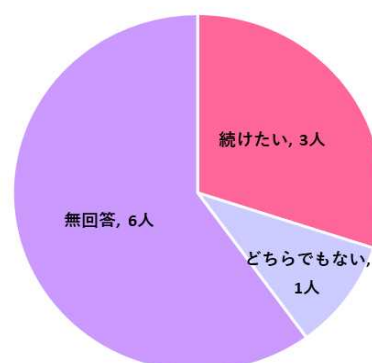
所属	学年	ご意見・ご要望
地域文化研究科	1年	図書館の電子ブック拡充や、院生向けに電子書籍読み放題のサブスクリプション（kindle Amazon studentなど）があると、より知識が深まり、研究がはかどると思います。
地域文化研究科	1年	感染予防策で図書館の利用時間が90分と短かった。13号館自習室は週末に定期的に利用できた。
地域産業研究科	1年	13号館の24時間開放についていい加減検討してほしい。（大学院生の意見を聞き入れない大学当局に不満を感じる。）
地域文化研究科	1年	図書館を大学院生向けに6限の時間帯に会館開館してほしい。仕事等で日中に来づらいため。
地域文化研究科	1年	大学院の共通PC室にAdobe関係のソフトを入れてほしいです。
地域文化研究科	2年	給湯器があれば、いつでも温かい飲み物が飲めるので、設置して欲しい。長時間校舎内にいるので、あるととても助かる。
地域文化研究科	2年	13号館へ24時間入退出できるようにしてほしい。
地域産業研究科	1年	電子図書でも良いので、参考文献を増やしてほしいです

「2021年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」 集計結果

8-①. 教育支援者（TA）として、学部授業のサポートをしていますか



8-②. M2以降も、教育支援者（TA）を続けたいですか



8-③. 上記②の回答理由

所属	学年	②の回答	理由
地域文化研究科	1年	続けたい	自分の研究対象資料見学などで時間が重なることが多く、担当教員に申し訳ない気持ちがある。しかし、ゼミの後輩や先生方との交流が自分の中でとても有意義な時間であるから。
地域産業研究科	1年	続けたい	学部生との交流は自分自身の研究にとっても大きな「閃き」を与えてくれるから。また、大学院生は研究時間確保のため、アルバイトが制限される。大事な収入源でもあるため。
地域産業研究科	1年	続けたい	後輩に教えることで自分が勉強になることもあるから。
地域文化研究科	1年	どちらでもない	学部生に教えることのできる技術を自分自身が十分に身につけられていないと感じたから

8-④. 教育支援者（TA）経験がない方へ 教育支援者（TA）をしてみたいですか



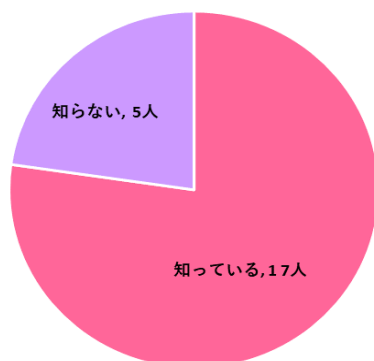
8-⑤. 上記④の回答理由

所属	学年	④の回答	理由
地域文化研究科	1年	してみたい	今後教育者になるかもしれないため、経験を積みたい。
地域文化研究科	1年	どちらでもない	どのような制度なのか分からないから。
地域文化研究科	1年	してみたい	興味があるため
地域文化研究科	1年	してみたい	機会があれば。
地域文化研究科	2年	してみたい	指導教官の講義をお手伝いすることで、学ぶことは多くあるから。
地域文化研究科	2年	してみたくない	TAが具体的に何をやる人なのか、何が目的なのかよくわかっていないから。
地域文化研究科	2年	どちらでもない	あまり学内のことを知らないし、パソコンは得意ではないから。学生の要望に答えられそうもない。
地域文化研究科	2年	どちらでもない	具体的にどのようなことをしたらいいのか分からない。
地域産業研究科	1年	してみたい	将来に役立つと思うから

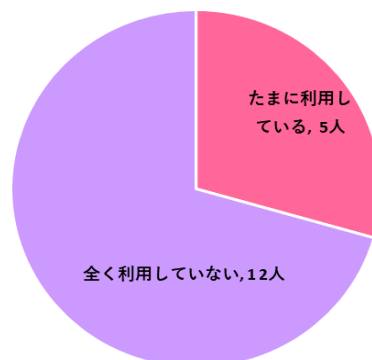
「2021年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」 集計結果

地域産業研究科	2年	してみたい	教育支援者側からみた講義について、経験するため
法学研究科	2年	どちらでもない	頼まれればやろうとは思うが、自分の研究と両立できるか不安なので自らやろうとまでは思えない。
法学研究科	2年	してみたくない	働いているため

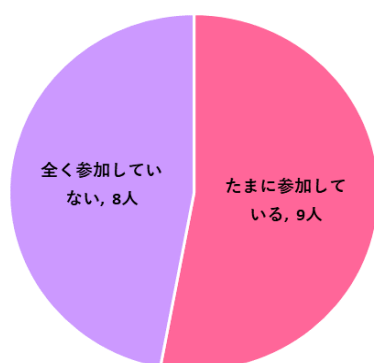
9-①. 本学の4研究所を知っていますか



9-②. 本学研究所の施設を利用したことがありますか



9-③. 本学研究所が主催する研究会等に参加したことがありますか



10. その他、ご意見やご要望（時間数、科目の種類など）

所属	学年	ご意見・ご要望
地域文化研究科	1年	現在私は所属領域に同期が居らず、さらに先輩後輩もない状況です。他の院生の方々との接点が殆ど無いため、他の院生の方々の進捗状況もわからず、同年代での相談相手もないため孤立感を覚えます。同専攻内での交流の場を増やしてほしいです。
地域産業研究科	2年	新型コロナウイルス感染症対策としての、施設利用制限について、特に図書館については、学生への開放をご検討いただきたい。密にならないよう、半個室スペースを割り当てる、こまめに喚起するなど、 その中で、感染対策を守れない方については利用を制限しても良いと思います。 ※月・水・金は学部生が利用、火・木・土・日は大学院生など・・・。
地域文化研究科	1年	可能であれば、夜間の時間を科目2コマ続けていただき、社会人との両立ができればよいと思う。
地域文化研究科	1年	国語科教育に関する科目を増やしてほしいです。
地域文化研究科	2年	履修したい科目の時間割が重なってしまい、履修できなかったのは、残念に思う。時間割に工夫をして欲しい。科目の種類がもっとあると、選択しやすいと思う。
地域産業研究科	1年	・地域産業研究科の履修できる科目を増やしてほしい。（研究領域に関連する科目が少ないため、他領域の関係ない科目を履修し単位を取得しなければならないため。） ・自身が執筆した修士論文の製本版を大学院生にも配布してほしい。（指導教員、図書館、大学院書庫用しか作成していないため。記念に欲しい。）
地域産業研究科	1年	特にありません。